

令和5年度 登米市 下水道事業 会計決算の概要

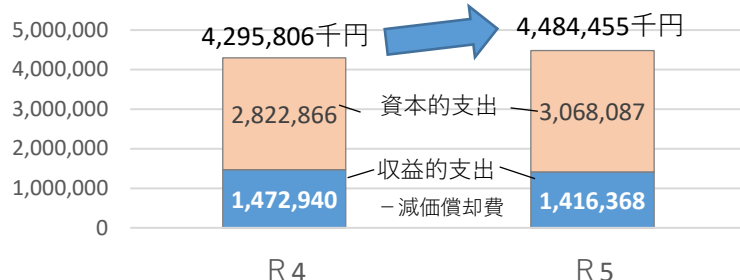
1 決算規模

44億8,445万 5 千円

(= 収益的支出 - 減価償却費
+ 資本的支出)

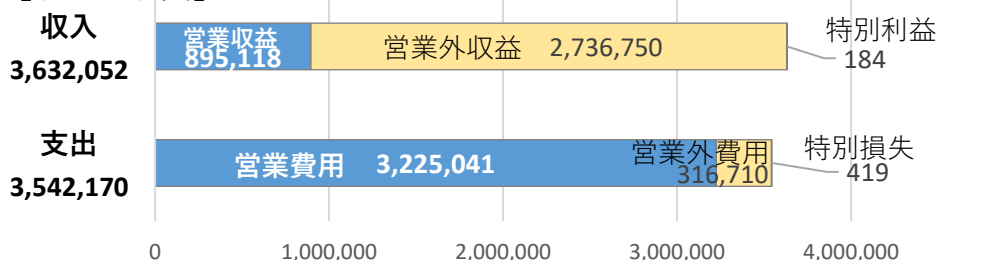
※前年度比 約 1 億8,800万円の増
⇒令和 4 年度からの繰越事業の増加等による建設改良費の増加 (約 2 億 3 千万円) によるもの

【決算規模の前年度対比】

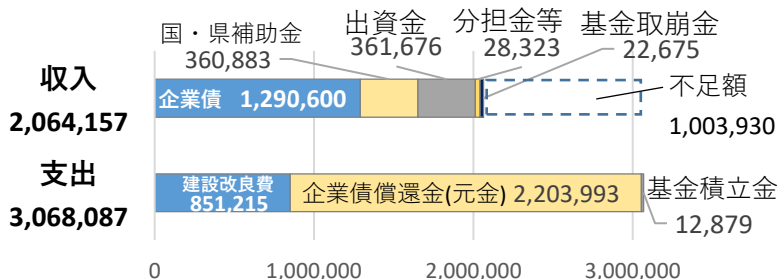


2 予算執行状況 (消費税込み)

【収益的収支】



【資本的収支】



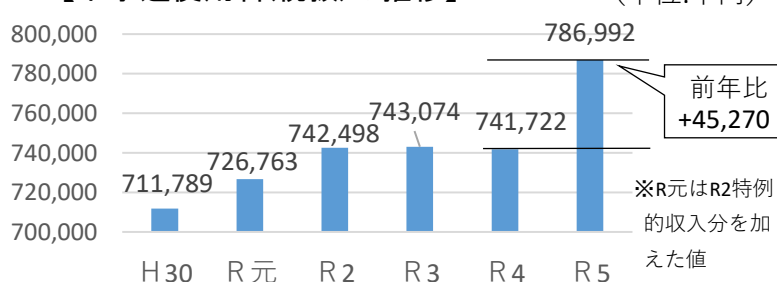
※ 主要事業

- ・ 下水道使用料改定
- ・ 汚水管渠の整備
- ・ 大東地区雨水排水路の整備
- ・ 処理施設の更新
- ・ 合併処理浄化槽の整備(64基)

3 経営状況 (損益詳細 消費税抜き)

(1) 営業収益 816,419千円 (前年比 47,945千円)

【下水道使用料(税抜)の推移】



下水道使用料収入の増加

・ 水洗化人口及び一人当たりの汚水排水量は減少しているものの、使用料の改定により増加

R4 比

水洗化人口：246人減
一人当たりの排水汚水量：1.9㎡減

(2) 営業費用 3,142,355千円 (前年比 △39,754千円)

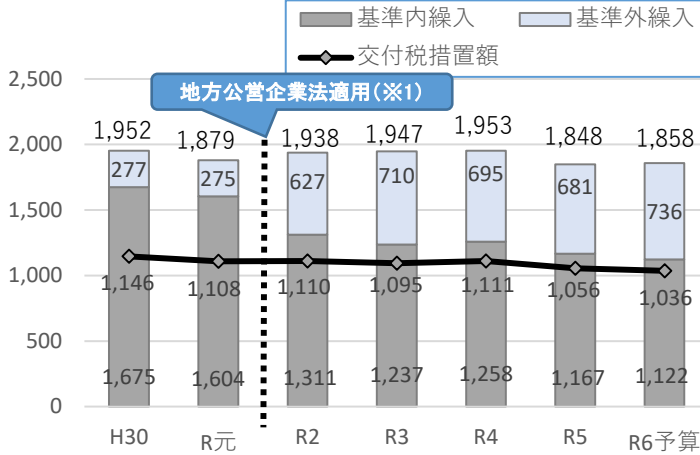
固定資産除却費 (56,842千円) の減などが主因

(3) 営業利益 △2,325,936千円 (前年比 87,699千円)

《主な増減要因》

(4) 営業外収益	2,709,147千円 (前年比 △155,115千円)	他会計補助金等の減
(5) 営業外費用	333,200千円 (前年比 △29,812千円)	企業債利息の減
(6) 経常利益	50,011千円 (前年比 △37,604千円)	
(7) 特別利益	184千円 (前年比 5千円)	
(8) 特別損失	380千円 (前年比 △36,729千円)	R4.3地震、R4.7大雨の災害復旧費の減
(9) 当年度純利益	49,815千円 (前年比 △870千円)	

【一般会計繰入の推移】(百万円)



・一般会計繰入金は近年20億円弱で推移

⇒ R 5.10月からの使用料改定により、一般会計繰入金は当面は年間19億円弱で推移する見込み。更なる維持管理費等経費の縮減に努める必要がある。

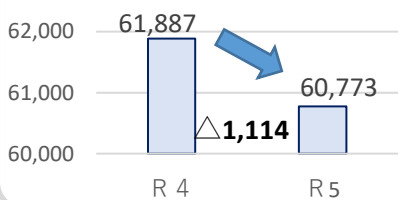
(※1) 地方公営企業法適用事業と非適用事業では基準内繰入の算定方法が異なる

・最終予算における予定損益計算書より純利益が50,015千円増(純損失が減)。主な要因は、委託料(31,886千円)、修繕費等(5,857千円)、予備費(15,000千円)の減。

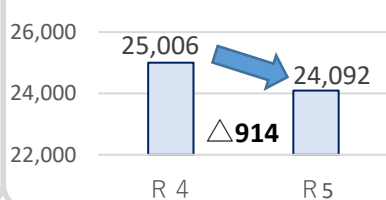
4 財務諸表の調整

- (1) 損益計算書 当年度純利益49,815千円、当年度未処理欠損金77,337千円
- (2) 剰余金計算書 他会計繰入金(出資金)361,676千円を資本金へ繰入など
- (3) 貸借対照表 資産の減価償却の進行により、前年度比1,114,360千円減少

【資産総額】(百万円)



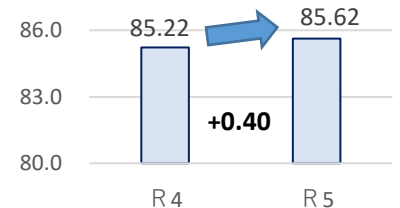
【企業債残高】(百万円)



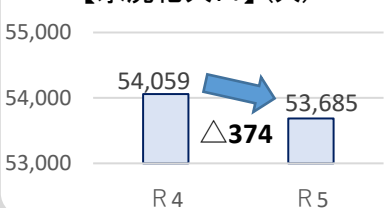
(4) 事業報告

※水洗化人口の内、本市下水道使用者はR5で48,758人(前年度比 △246人)

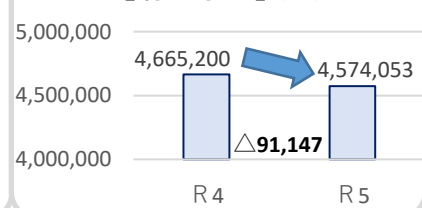
【汚水処理人口普及率】(%)



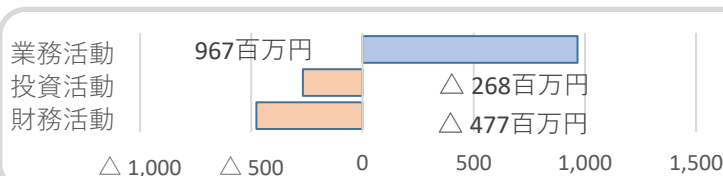
【水洗化人口】(人)



【有収水量】(m³)



(5) キャッシュ・フロー計算書



業務活動で資金が得られ、かつ借入金残高を減少させながら建設投資が行われており、比較的安定した経営状況。
資金期末残高753百万円(前年比221百万円)